

技術士(農業部門、総合技術監理部門) 新保 義剛 氏  
【ご講演概要】

2019.12.07

今年の関東・東北の豪雨災害を始め、昨今の豪雨・地震災害では多くのため池に被害が出ています。また、ため池の決壊により死傷者が出てしまう例もありました。兵庫県には、4万以上のため池があり、数は日本一です。ため池は水田への用水源、重要な農業水利施設です。

講演では、農業水利や農村地域振興について、発表者の海外経験や最新の技術を含め紹介します。また、ダム等の耐震評価や解析手法にも触れながら、次について説明します。

- ①農業農村整備の概要
- ②対象となる構造物の概要
- ③地震等による被災例と構造物の損傷
- ④耐震評価手法と信頼性設計の概要
- ⑤地震動とその伝搬
- ⑥構造物の地震動による応答と挙動の解析例
- ⑦地震による影響と対策
- ⑧解析手法の課題